

HRガイド

転換期の 人材育成指針

～新時代に生き残るための重要課題と解決策～

アチーブメント株式会社 コンサルタント・マネジャー 和泉 大

■人を大切にする時代の「人材育成」とは

2014年9月に「人を大切にする経営学会」が発足したのをご存知でしょうか。『日本でいちばん大切にしたい会社』シリーズの著者である法政大学大学院 坂本光司教授が発起人代表を務める研究団体で、「人を大切にする経営」の理論化・体系化を通じて、活力に満ちた企業や社会を創出することを目的に設立されました。

本総会では、「日本の長寿企業の多さは世界でも類を見ないものであること」「これからの経営では『人を大切にする経営』こそ発展の秘訣であり、その要諦は人材育成であること」などが語られました。省庁の副大臣クラスが来賓として出席し、安倍首相からも祝電が送られています。「人を大切にする経営」が注目され、これからの時代に求められていることを実感する機会となりました。

企業経営でも「人材育成」は最重要課題に浮上しています。しかし一方で、人事担当者の方からいただく相談では「この状況を改善したい」といった現状起こっている問題に対する、いわば“対症療法的”な内容が多いようにも感じられます。もちろん、1つひとつの課題を解決していくことは重要なのですが、それを通じて「何を成し遂げるのか」という“教育研修のゴール”が定まっていない状態で、加算的に研修が行われてしまっている現実があります。そうすると本質的な問題解決に至らず、せっかくの教育投資も活かせないでしょう。

そこで人材育成のゴール設定からスタートし、各企業様から共通していただく人材育成の課題とその乗り越え方をご紹介していきたいと思います。

(著者)

CONTENTS

- | | | |
|-------------|------------------------|---------------------------|
| No.1 | 理念・ビジョンの明確化 | まずは人材育成のゴールを押さえる |
| No.2 | 管理職の育成課題と指針 | 内発的動機づけに訴求するマネジメントを |
| No.3 | リーダー層の育成課題と指針 | 部下との信頼関係を築くコミュニケーションを |
| No.4 | 若手社員の育成課題と指針 | 「個人の自己実現」と「組織のビジョン実現」を重ねる |
| No.5 | 研修効果を高めるには？ | 現場での「習慣化」までをデザインする |
| No.6 | 離職防止という課題 | 理念を軸に置いた採用を展開する |
| No.7 | 「人材育成」を実現するポイント | |

■和泉 大 (いずみ ひろし)：早稲田大学政治経済学部卒業後、文化系NPO・環境系ベンチャーを経て大手上場IT企業に入社。トップセールスははじめ数々の営業記録を塗り替え、入社後10ヵ月、当時グループ最年少で子会社の取締役に就任。その後、教育への志と理想の組織作りへの強い想いからアチーブメントに中途入社。大手企業を中心にコンサルティングを手掛け、延べ3,000名以上に管理職研修を実施（平均満足度は97.8%）。自らもマネジャーとして、前年対比190%を超える実績を挙げるチーム作りを実践中。

■アチーブメント株式会社

●住所：〒141-0022 東京都品川区東五反田4-6-6 高輪台グリーンビル ●TEL：03-3445-0311 ●FAX：03-3445-2310
●URL：<http://www.achievement.co.jp/>

